



上部消化管内科（内視鏡）

【診療科部長メッセージ】

がん研究会有明病院では専門的に、より深く診療を行うために消化器内科の中に消化器化学療法科、肝胆膵内科、上部消化管内科、下部消化管内科を設け、それぞれ強化を図るため医師の増員を行うことと致しました。

上部消化管内科では年間約500件の早期胃癌ESD、150件の表在型食道癌のESDを施行しております。そのほか、咽頭癌ESD、粘膜下腫瘍に対してLECS（Laparoscopic Endoscopic Cooperative Surgery）を約40例、粘膜下腫瘍開窓下生検、食道ステント、胃瘻造設などを行っております。メンバーは全員さまざまな大学、研修病院からの出身者ではありますが、みな強調性が高く、臨床、研究を行っていくうえで大変やりやすい環境であるといえます。希少癌症例も多く、ピロリ菌未感染の印環細胞癌、胃底腺型胃癌の症例も多数治療しております。

ぜひ、がん研有明病院のスタッフとして日本のがん治療を発展させる意欲に溢れた人材を公募いたします

消化器内科 部長（上部消化管内科 部長兼務） 藤崎 順子